

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長と JR 東海との意見交換会概要

建設部リニア整備推進局

1 日 時 令和2年12月14日（月）15：30～17：30

2 場 所 南信消費生活センター 2階大会議室

3 出席者

- <市町村長等> 飯田市、下伊那郡 13 町村、中川村、南木曾町、南信州広域連合
- <長 野 県> 建設部リニア整備推進局長、南信州地域振興局長、飯田建設事務所長
- <J R 東 海> 宇野 護副社長 他6名
- <鉄道・運輸機構> 関東甲信工事局次長

4 冒頭あいさつ

【リニア整備推進局長】

- ・静岡工区について、JR東海、静岡県、国交省の三者が積極的に意思疎通を図っていただき、1日も早く問題が解決され、事業が進捗することを強く要望する。
- ・この意見交換会は、リニア開業を見据えて、懸案課題を早期に解決することや関係機関の連携を密にすることを目的として開催している。今回で6回目。
- ・県としては、JR東海と市町村の間に入り、調整役として課題解決に向け取り組んでいく。

【南信州広域連合長（飯田市長）】

- ・地元の皆様は、いろいろな思いを抱えている。JR東海の皆様には、そういった関係者のご理解の上に事業が成り立っているということを受け止めていただきたい。
- ・この意見交換会では、これまでも様々な課題提起をし、その解消に努めていただいている。事業の進展に伴い発生する新たな課題や、未解決の課題についても、引き続きお願いする。
- ・開業に向けていろいろな課題があると思うが、先の見通しの立つような情報提供をお願いしたい。
- ・本日は、各市町村からJR東海の皆様へ直接意見を申せる貴重な機会。真摯に受け止めていただき、具体的に対応していただくようお願いする。

【JR東海副社長】

- ・静岡工区について、工事ヤードの整備に3ヶ月、トンネル掘削に5年5ヶ月、ガイドウェイ設置や試運転などに2年、合計7年8ヶ月程度かかるため、昨年6月に着手出来なかったことから、2027年開業は難しくなったと認識している。
- ・たとえ2027年開業は難しいとしても、延びる期間は極力短くしたい。国交省主催の有識者会議においてわかりやすく丁寧な説明に取り組み、静岡県や関係者のご理解も得て、早期に着手して一日でも早い開業を目指していく。
- ・長野県内の工事については、引き続きペースを緩めることなく進めていく。

- ・発生土置き場については、現時点で飯田市、喬木村、豊丘村、大鹿村、伊那市で11箇所が置き場として決定しており、それ以外にも約30箇所に関係機関や地元、地権者と調整中。
- ・「工事の安全」、「環境の保全」、「地域との連携」を重視し、事業を進めていくので、皆様には引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

5 県内工事の状況説明

○JR東海から各工区の状況等を説明。

6 意見交換内容（発言要旨）

■懸案事項への対応

●発生土

【市町村】

- 地権者はもとより、下流域も含めた関係者に対し、より一層丁寧な説明をお願いしたい。（飯田市）
- 発生土置き場について、将来にわたって安心できる対策を講ずるとともに、発生土の搬出方法についても、早期に地元関係地区への説明をお願いしたい。（飯田市）
- 発生土置き場候補地について、まだ地元では判断ができない状況。なるべく急いで詳細な計画を地元に説明していただきたい。（阿智村）
- 先日、現段階における発生土置き場候補地の概略設計図を提示していただくという柔軟な対応を行っていただいたことで、地元も活気づいている。早期に設計が確定するようお願いしたい。（下條村）
- 今の時代、100年に1回の規模の雨が当たり前のように降る。こういったことを念頭に置いて、発生土置き場の設計、施工、管理を行ってほしい。（豊丘村）
- 発生土の運搬先が明確に決まっていないことについて、住民は心配している。発生土置き場の早期確定をお願いしたい。（大鹿村）
- 発生土置き場候補地の調整において、地域の意向に沿えなくても、できることを見つけていただいて、地域の期待に応えるよう対応いただきたい。（南木曾町）

【JR東海】

- ・発生土に関しては、平成26年に長野県から活用先の候補地をいただき、その後も順次候補地を提供いただき、大変感謝している。
- ・現時点で候補地として決定しているのが11箇所、昨年度のこの会議から7箇所追加している。その内、3箇所が搬入が完了、ほか3箇所が搬入を進めている。それ以外に、約30箇所に関係機関や地元・地権者等との調整を進めている。
- ・各候補地において、詳細な計画が確定次第、地元の皆様へ丁寧に説明していくので、引き続き

バックアップをお願いしたい。

- 発生土置き場の盛土設計や水路設計について、最新の関係技術基準などを踏まえ、降雨や地震時の検証を、既存の基準を上回るレベルで実施している。
- 発生土置き場の下流域にあたる地域の方々を含め、分かりやすい図面などを用いて丁寧にご説明するとともに、工事にあたっては、現地の状況を踏まえ、事業者としてしっかりと現場管理を実施していく。
- 発生土置き場の管理については、場所ごとに地権者の方々や地元の皆様のご意向を踏まえ、造成完了後も当社において管理することも含めて調整させていただくなど、ご安心いただけるよう努めている。
- 下條村とは、本年4月に造成に向けた村との役割分担などについて基本協定を締結した。この場所の将来の活用について、総合運動公園や体験農業施設など、村において様々な検討をされていると聞いている。当社もご協力できることは対応させていただく。

●工事車両の運行

【市町村】

- 工事用車両の通行について、不安を感じている住民の皆さんも多い。締結した確認書の確実な履行、地元要望への誠意をもった対応、工事用車両の通行における交通法規の遵守、狭隘区間について早急に具体的な安全策の提示などをお願いしたい。（飯田市）
- 発生土の運搬について、具体的な数字が出て以降、住民の方から不安が出てきている。地元に着したきめ細かい対応と丁寧な説明の実施をお願いするとともに、地元の要望に対して、対応をお願いしたい。（松川町）
- 地元住民が願うところは、生活環境の安全が確保されること。地元の懸念が払しょくされるように、引き続き最大限の取組、対応をお願いしたい。（阿智村）
- 大鹿村からの発生土を喬木村に搬入するにあたり、各町村に大変なご支援をいただいた。リニア開業に向けて、インフラ整備が盛んに進んでいるので、どこかでしっかり調整いただければありがたい。（喬木村）
- 工事用車両や発生土運搬のトラックが生活圏に降りてこないように発生土置き場を決めた経緯がある。これらの車両以外についても、運行ルートや運行マナーについて地元の皆さんの声を聞きながら進めてほしい。（豊丘村）
- 発生土運搬の台数調整について、早期に情報提供をお願いしたい。（大鹿村）
- 複数の発生土置き場に運搬する際、計画的な運行を行い、なるべく渋滞が起きないように対応してほしい。（中川村）
- 説明会があるたびに、工事期間が短くなっているように感じており、地元は心配している。工事用車両交通量の平準化に向けて、工事期間の延長も含めて検討をしてほしい。（南木曾町）

【JR東海】

- 地元の皆様方には、工事用車両の運行ルート、通行日時、通行量などの通行計画や、安全対策の内容などをお示しして、ご意見を伺い丁寧に対応しているところ。
- 飯田市の鼎地区、羽場・丸山地区とは、工事用車両の通行に関する確認書を結んでおり、通行ルートや通行の時間帯、沿道の歩行者や一般車両の安全確保など、確認書に基づき、工事影響の低減、安全対策の徹底に努めていく。
- 阿智村内の萩の平工区や、南木曾町の広瀬工区では、工事ヤードまでのアクセス道路の改良を進めている。工事用車両の通行に際して、本年締結した確認書に基づき、安全運行に努めていく。
- いずれの工区においても、工事用車両が通行する際には、地元車両を優先して、交通法規の遵守、運行マナーなども十分に配慮する。

- 工事用車両の運行に伴う周辺環境への影響の低減について、大鹿村内における迂回路の整備、松川町内におけるルートの分散、飯田市内における一筆書きによる運行ルート、三遠南信自動車道などの高速道路の使用など、様々な手法により影響の軽減を計画している。
- 中川村の渡場交差点については、渡場地区の方々に対し、工事用車両通行の配慮事項や交通シミュレーションなどを丁寧に説明している。
- 渡場交差点における環境影響の低減や、松川町内における走行台数の削減のため、渡場交差点を北側に直進するルートで運搬できる発生土置き場候補地の検討も進めている。
- 事業者として、しっかりと生活環境の保全、安全の保全について取り組んでいく。

- 発生土の運搬車両は、GPSを利用した車両位置検知システムにより、各車両の位置や車間距離を管理し、速度を調整することで、一般車両にご迷惑をかけないように走行する。

- 当社の事業以外にも、各地域の道路整備などがあることは十分承知している。国、県、地元自治体と工程、ルート、台数等を調整していく。

- 今後トンネル工事が進むにつれ、発生土の運搬車両の台数が増えていく。状況を注視し、必要により追加で対策を講じていく。
- 複数の発生土置き場に搬出する場合においても、関係箇所と調整して、運行台数や運行間隔が平準化できるよう適切に運行管理していく。
- 工程及び通行車両の平準化について、まずは現在の計画の中で平準化を検討し、その後、実態に合わせて対応を検討していく。

●環境保全対策

【市町村】

- 防音・防災フードの話をはじめ、工事中及び開業後の騒音問題について、住民の皆さんへ丁寧な

説明と誠意をもった対応をお願いしたい。（飯田市）

○水資源に関して、自主的な調査を含む事後調査の結果を、住民の皆さんが適切に把握できるようにしてほしい。また、工事に起因する減水等のトラブル発生時における関係機関への速やかな情報提供と情報公開をお願いしたい。（飯田市）

○環境対策工における飯田市座光寺の検討状況は、喬木村民も注目している。地域によって、対応に偏りが生じないようお願いしたい。（喬木村）

○大気環境について、ある基準に収まればよいという考え方ではなく、影響を低減化させる方向で一緒に考えてほしい。また、近隣や近県における大気環境に関する情報をいただきたい。（中川村）

○環境保全の手続きについて、環境を重視する自主的な取り組みであって、県に環境保全計画を提出し、助言を得て、それに対する対応を明らかにした後に、工事着手をするという考え方に変わりは無いか伺いたい。（南木曾町）

【JR東海】

- 先月、長野県から「新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域類型指定」が告示されたことは承知している。
- 騒音対策は、防音壁を基本に、沿線の住居の状況や病院・学校などの施設の有無など現地の状況に合わせて、土地利用対策や個別対策を含め、総合的に判断していく。
- 県や市町村においても、土地利用対策などご協力いただけるとありがたい。
- 騒音対策は、全線において同じ考え方で示しており、地域によって偏りが生じないように対応していく。
- 飯田市の座光寺地区においては、これまでの環境対策工の配置計画を一部見直して、関係者に説明している状況。引き続きご協力をお願いしたい。
- 当社が実施しているモニタリング結果は、ホームページで随時更新している。
- 環境影響評価への対応方針について、基準値をクリアすればそれでいいという考えではなく、できる限り環境影響を低減させるよう努めていく。
- 工事中に減水、濁水の兆候が起きるなど、水利用への影響の恐れがある場合は、住民の皆様の生活に支障が無いよう、状況に応じた対策を実施する。
- 市町村と連携して、緊急時に地元の方々へ情報共有できる連絡体制づくりはしっかり行う。例えば、黒田工区は、トンネル掘削工事着手前までに関係機関と連絡体制を整備する。
- 南木曾町の水道水源について、引き続き丁寧に対応するとともに、昨年8月に交わした確認事項及び12月に交わした協定書を遵守し、実施する。
- 環境保全について、これまでと同様、環境保全計画に対する県の助言を踏まえ、具体的な対策をとって工事を進めていく。

■関係機関との連携強化

●地元との連携強化

【市町村】

- 駅や高架下のデザイン、仕様に関する調整及び市が実施する駅周辺整備への理解と協力をお願いしたい。（飯田市）
- 事業主体であるJR東海、鉄道・運輸機構、施工業者が連携して事業を進めるようお願いする。（阿智村）
- 発生土運搬における市町村間の調整が、非常に大変だと思う。早めに調整を進めてほしい。（下條村）
- 7月豪雨における災害対応、松川インター大鹿線の改良（トンネル含む）について、感謝。（大鹿村）

【JR東海】

- ・当社としても、県、市町村、地元住民の皆様と信頼関係を構築することが何より重要であると考えている。
- ・今後とも、地元の皆様とのより深いコミュニケーションを心がけ、長野工事事務所や大鹿分室をはじめ、現地での対応をより一層きめ細やかにしていきたいと考えている。引き続きご支援をお願いしたい。
- ・これまで、地域の祭りなどに参加させていただいていたが、今年はコロナ禍で、そうしたことが難しい状況であった。コロナが収束したら、これまでどおり地域の皆様との関わり合いを大切に、より一層良好な関係を築きたい。
- ・鉄道・運輸機構とは、情報の伝達が滞ることがないように、連絡調整、打ち合わせを行う。
- ・当社としては、鉄道事業者の責任として、お客様にご不便のない、安全で快適、そして機能的な駅を整備する計画である。それ以外に、駅のデザインや外観について地元のご要望があるのであれば、土木建築における各種設計にも影響するため、早めに具体的なお考えを提示していただきたい。ご要望の内容によっては、地元の負担も含めて相談させていただく。
- ・飯田市で進めている駅周辺整備についても、調整をしっかりと図る考えである。引き続き連携を図っていきたい。

●情報提供

【市町村】

- 地元説明会をこれまで何度もしてくださり、段々状況も変わると思う。最初の説明と乖離がないようにお願いしたい。（阿智村）
- 本線の工事については我々も承知しているが、作業ヤードなどの話は、施工業者がそれぞれ交渉しているようであり、我々は承知していない。住民から村に相談があっても対応できないので、

早めに情報提供いただくようお願いしたい。（喬木村）

○新聞報道で、これまで知らなかった情報を突然知ることがある。報道のタイミングもあるかと思うが、我々にも事前に情報提供いただきたい。（大鹿村）

【JR東海】

- これまでのテーマでもお話いただいたように、地元の方々への丁寧な説明、早期の情報提供が大切であるということは、それぞれの課題に関わらず全体共通のことと十分認識している。引き続き丁寧な対応を心がける。
- 地元の方々へご説明した内容と、実際の現場が乖離することがないように、事業者としてしっかり対応する。
- 発注者であるJR東海と、施工業者とで協力体制が取れていないというご意見については、いただいたご意見をしっかりと踏まえて対応していきたい。

●用地補償に係る個別事情への対応

【市町村】

○住民は、リニアができた後どうなるかわからないという不安を常に抱えている。補償について、住民サイドに立った柔軟な対応をお願いしたい。（喬木村）

【JR東海】

- 日照の影響が生じる場合の補償について、住宅、農作物、太陽光発電に関する国の処理基準に基づき補償する。補償内容や補償期間など、個別の条件が異なるので、関係者の方々から、丁寧にお話を伺い、説明していく。

■地域振興への協力

●地域振興及び観光振興

【市町村】

○リニアができたときに、昼神温泉、または阿智村までどういう観光をしていくか、「昼神温泉リニア新時代構想」を策定して検討している。全面的なご協力とご支援をお願いしたい。（阿智村）

○中央西線特急しなのを美乃坂本駅に停車させるようお願いしたい。また、在来線の接続を改善いただきたい。これは、リニア効果を引き出すためには欠かせないものであると考えている。（南木曾町）

【JR東海】

- リニア開業後はもちろんのこと、開業までの間においても、地域の魅力をアピールすることに当社も協力して取り組むということは、大変重要であると認識している。鉄道事業者の立場から、旅行商品の企画、販売、宣伝を通じ、ご協力させていただく。
- 特急のアクセス充実やダイヤ編成について、ご要望はしっかり受け止めるが、実際は開業時点

での社会経済の状況などを勘案し、決めていくため、具体的な話は、現時点では申し上げにくい。

■その他

●静岡工区及び開業時期について

【市町村】

- 静岡工区の問題をはじめ、開業に向けていろんな課題があるなかで、ぜひ見通しが立つような情報の提供をお願いするとともに、引き続き事業を着実に進めていただきたい。（飯田市）
- 各市町村の地域づくりは、ある時期までにどこまで進めるという目標をもって進めている。モチベーション維持のためにも、開業の時期が見通せた段階で早めに教えてほしい。（喬木村）

【JR東海】

- ・南アルプストンネル静岡工区において、工事に着手できておらず、品川・名古屋間の2027年の開業が難しい状況である。
- ・今後も、国が主催する有識者会議に真摯に対応し、地域の不安を解消することで、静岡工区の早期着手と品川・名古屋間の早期開業に向けて全力で取り組む。引き続き有識者会議に取り組み、今後、工事に着手する段階になれば、開業時期についての話がしっかりした形でできるようになると思う。
- ・2027年中の開業が難しくても、延びる期間を極力短くしたいと考えている。長野県内の工事についても、引き続きペースを緩めることなく、着実にしっかりと進めていく。

●意見交換会におけるJR東海からの回答を踏まえて

- 発生土置き場の安全性について、どの程度の期間安全性を担保していただけるか、今後協議したい。（下條村）
- 具体的な事項については、引き続き誠実に協議させていただく。（JR東海）
- 自然由来の重金属を含む発生土（=要対策土）について、調査の段階から出ると言われており、実際大鹿村で掘っているトンネルから基準値を超えるものが出てきていると聞いている。このことについては、協議会などでご報告いただいております。このような透明な姿勢は今後も絶対に必要になる。（中川村）
- 要対策土については、しかるべき措置をして活用するということが必要。そのことを踏まえて、発生土の処分先については県や市町村とよく協議をしていただきたい。（中川村）
- 事業者として、しっかりと責任をもって、説明責任、情報公開に努めていく。県の方にもしっかりと相談しながら進めていく。（JR東海）
- 駅のデザイン等の話について、どこを窓口としたらよろしいか。（飯田市）
- 長野工事事務所で構わない。工事事務所に話をさせていただければ、速やかに本社へ話が届くので、

対応させていただく。その際には、県の方にも相談させていただく。（ＪＲ東海）

○ガイドウェイヤードの用地に関して、非常にＪＲ東海の皆様にはご苦労いただいている。ＪＲ東海の皆様は、よく地域に溶け込んで一生懸命やっただいており、感謝している。（高森町）

○概略設計について、まだ確定していないにも関わらず地元で提示してくれたことで、地権者は本当に喜んでいる。今後も、柔軟な形での情報提供をお願いしたい。（下條村）

○事業者として、しっかりと情報提供に努めていく。（ＪＲ東海）

○最近、全国的に新型コロナウイルスの感染が広がっている。大鹿村では、多くの方が工事に来っており、年末年始はふるさとに戻られる方もおられると思うが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を改めてお伺いしたい。（大鹿村）

○ＪＲ東海から施工業者へ、帰省を控えるよう要請しているが、事情がある作業員もおり、帰省する人はいる。感染予防対策として、うがい、手洗い、マスク着用、毎日の検温及び帰省後の体調確認と入場規制、行動履歴の確認などを行う。また、念のため帰省後２週間は、ご地元の方と接触する可能性がある場所へは行かないようにさせる。（ＪＲ東海）